

【環境に配慮した先進的な車両管理の取組及び共同輸配送の実施】

- 主な受賞理由
- ・全車にデジタルタコグラフを搭載（2002年）
 - ・都市部の配送にハイブリッド車配置等低公害車導入に積極的な取り組み
 - ・清酒、食品の共同輸配送を実施
 - ・鉄道コンテナによるモーダルシフトの実施



一級品質の物流サービスを目指して

当社は地域に特化した安心できる物流業者でありたい、お客様がお客様を呼んで下さる企業になりたいと、一級品質の物流サービスを提供する努力を続けている物流業者です。

安全性と経済性そして環境保全の為に

2002年よりデジタルタコグラフ搭載を開始し、その仕組みを活用する為会社方針の一つとして、

2003年1月 全車両デジタコ導入による安全意識の向上と事故撲滅の取組みの開始宣言

2004年5月 デジタコ評価基準策定とグリーン経営を目指すことを周知

2008年4月 環境保全の推進宣言を全社に掲げ努めてきました。

また『警察庁方式運転適性検査指導者資格』取得の為5日間研修を2006年より毎年管理者1名が参加し、安全並びに経済性を目指した運転技術指導を行える人材を養成しています。（現在有資格者3名）

環境保全を推進する為の車両装置について

遠距離運行車両 20台に蓄熱マット装備。
高速道路走行車両 41台に導風板、ハイルーフ装備。
車両代替時は低燃費かつ低排出ガス認定車を購入。

モーダルシフトの推進

車両運行以外の輸送手段として、大阪FL物流事業協同組合（物流業者22社）に設立時より参加。現在、理事としてモーダルシフトの普及に努めています。

遠距離運行に関して

当社では自社便遠距離運行は、1988年以降復路空車は絶対発生させない（往復路実車率100%）という方針のもと、無駄なコスト削減と健全な経営を目標に、復路荷物がない場合は遠距離便を出発しない仕組みを構築し管理しています。

共同配送には長い歴史があります。

当社は明治22年創業の運送会社です。創業以来、西宮郷の酒米や清酒を運び続けてきました。1980年代に入り、清酒販売が小口化していく中で1982年に西宮地区清酒メーカー4社との共同配送を開始しました。現在では、灘・西宮・伏見の清酒メーカー9社が参加し、兵庫・大阪（80～100店）へ、また東海地区の一部、関東地区の一部へ共同輸配送を行っています。



（ハイブリッド車・CNG車）

（倉庫内の積込作業）



また、関西・関東のお菓子を関東・関西地区のテーマパークへの共同配送を手がけ、現在16社が参加しています。特に都市部菓子共同配送にはハイブリッド車を導入し、環境保全へ取り組んでいます。

多くのメーカーが参加しやすい土壌作りの為に

2004年1月～安全性優良事業所（Gマーク）
2006年10月 グリーン経営認証（環境保全推進体制確立）
2007年9月 プライバシーマーク認証制度（個人情報保護体制確立）を取得し更新しています。



当社の歴史は古いですが、常に時代の半歩先を歩みたいと考えている革新的な心 = Innovative Isaka（我が社のロゴマーク）を失わず具現化し続ける企業でありたいと考えています。 以上